

雑誌オーナーになろう！

雑誌のカバーにつけた広告を、多くの人に見てもらえます！

雑誌オーナーになるには？

★本館、帷子分館、桜ヶ丘分館の雑誌コーナーにあるものから、希望する雑誌を選び、年間購読料をお支払いください。趣味・実用、スポーツ、芸術、文芸など様々なジャンルの雑誌があります。
★最新号の雑誌カバー表面に事業者名、裏面の全体に広告を載せられます。個人や団体がオーナーになることもできます。

費用（年間購読料）はどれくらい？

一部の雑誌について、一年間のおよその費用は次のようになります。

- ◎週刊東洋経済（週刊）36,500円
- ◎プレジデント（月2回）18,720円
- ◎non・no（月刊）7,800円
- ◎LDK（月刊）7,800円



申込みはいつでも可能です。

可見市立図書館ウェブサイト「雑誌オーナー制度」のページから案内と申込書をダウンロードできます。

【詳しくは】 本館 TEL0574 (62) 5120 まで

職員のおすすめ《この書き手に注目！》

齋藤 孝

（さいとう たかし 1960年静岡県生まれ）

明治大学文学部教授。『身体感覚を取り戻す』（NHK出版）で第14回新潮学芸賞を受賞。『大人の語彙力ノート』（SBクリエイティブ）、『未来の自分に出会える古書店』（文藝春秋）など、著書多数。

ご紹介するのは『1日1ページ、読むだけで身につく日本の教養365』（文響社）です。

世界的なベストセラーになった『1日1ページ、読むだけで身につく世界の教養365』（デイヴィッド・S・キダー他著）の日本版です。曜日ごとに7分野に分かれており、抜群に読みやすいです。

教養とは、『広辞苑』（岩波書店）によると「教養を養うこと。学問・芸術などにより人間性・知性を磨き高めること。」です。自分の足元がぐらついていると、自分のアイデンティティも曖昧になってしまいます。教養により自分のアイデンティティが見えてくると、世界の見方が変わってくると思います。1日1ページで確実に教養を得られるとは言い難いですが、さまざまな分野の知識を深めるアテンドをしてくれるのは確かです。生きていく上での糧を隙間時間に得られるので、とても贅沢な本です。また、ページ下部にある豆知識も心引かれます。

（帷子分館 三浦裕）

森下 典子

（もりした のりこ 1956年神奈川県生まれ）

日本女子大学文学部国文学科卒業。大学時代から「週刊朝日」連載人気コラム「デキゴトロジー」の取材記者として活躍。その後ルポライター、エッセイストとして活躍を続ける。

お薦めする本は『日日是好日』（飛鳥新社）です。著者にとってなんとなく始めたお茶のお稽古ですが、25年続きます。「失恋」「父の死」「コンプレックス」など、つらい日々をお茶のお稽古とともに乗り越えて過ごした毎日を綴ったエッセイです。最初は何でこんな事かと疑問に思いながら続けるうちに、お稽古が楽しみに変わります。厳格な約束事に縛られた窮屈な茶道の中にある大きな自由を感じ、季節を五感で味わう喜びや心の気づきが書かれています。気がつくとかげがえのない時間、なくてはならないものになっていました。

茶道とはむつかしい作法があつて、やっかいなものという先入観がありますが、お湯の沸く音を聞き、お香の香りに包まれ、季節の花を愛でる、茶室の中は楽しみに溢れています。樹木希林・黒木華で映画化もされました。「日日是好日（にちにちこれこうじつ）」とは、禅語で掛軸によく書かれることばです。

（本館 三浦緑）

あたらしく入った本

分類	書名	著者名	出版者名
情報・読書			
007.64/ヒ/	ひと目でわかるプログラミングのしくみとはたらき図鑑 ベーシックな知識から簡単なプロジェクトを通して実際のプログラムを作成するところまで、プログラミングの基本スキルを詳しく解説する。翻訳アプリや論理パズル、予算管理や進捗管理ツールなどのプロジェクトを紹介。	渡邊昌宏／日本語版監修	創元社
019.9/ホ/	図書館の外は嵐 登場人物が3人のミステリー、「おなみだぼいぼい」という絵本、百年前のディストピアSF…。穂村弘が、自身の心をとらえて離さない幅広いジャンルの本を丁寧に読み解く。	穂村弘／著	文藝春秋
心理・宗教			
146.8/コ/	ほどよい距離が見つかる本 「ほどよい距離」で人と付き合うには？ 知らぬ間に「他人に合わせている」人に向け、心の傷を癒し、自分を守る「一線」の引き方を紹介する。人生の不要な重荷を減らして、もっとラクに幸せに生きていくためのヒントが満載。	古宮昇／著	ずばる舎
192.5/モ/	不寛容論 「不愉快な隣人」とどう付き合うか。不寛容だった植民地時代のアメリカで、異なる価値観を持つ人びとが暮らす多様性社会を築いた偏屈なピューリタンの苦闘から、そのしたたかな共存の哲学を読み解く。	森本あんり／著	新潮社
歴史・伝記・地理			
210.4/ワ/	関ヶ原合戦全史 秀吉の晩年から五大老五奉行による政権運営時代、家康による戦後処理、豊臣家滅亡までの実態を、良質な一次史料と最新研究を用いて解明。二次史料に影響されがちな関ヶ原合戦史を訂正し、史実の全体像をつまびらかにする。	渡邊大門／著	草思社
281.0/ホ/	ざんねんな日本史 妄想の世界で大恋愛を展開した紫式部、俳句の腕はポンコツだった土方歳三…。日本史上優れた功績を残した人たちの「ざんねんな」エピソードを満載。彼らの「裏の顔」と共に歴史の裏側も見えてくる、一風変わった日本史読み物。	本郷和人／著	宝島社
289.1/シ/1	渋沢栄一 92年の生涯 春の巻・夏の巻 渋沢栄一の間近にいた秘書による記録であり、渋沢自身によって辞句や出来ごとの経緯などが改められた「事実のみ誇張なし、ありのまま」の渋沢栄一伝。春の巻は、少年時代から大蔵省時代までを収録する。	白石喜太郎／著	国書刊行会
291.0/セ/	1964年と2020年くらべて楽しむ地図帳 新幹線開通、高速道路網の整備、市町村合併…。1964年と2020年の2つの時点の地図から、激動期の日本列島の変化を読み解く書。都道府県ごとの解説と市区町村の変遷図も付す。	松井秀郎／編	山川出版社
社会			
304/ナ/	2040年の未来予測 年金、社会保険、医療費、5G、空飛ぶクルマ、ゲノム編集技術、南海トラフ、首都直下型地震…。20年後の未来にどのような可能性とリスクがあるのか、悲劇を避けるための対策をたてられるよう予測する。	成毛眞／著	日経BP
361.5/ミ/	どこへ行っても恥をかかない世界の「常識」図鑑 インドでは首を横に振ると「イエス」。イギリス人は割り勘せずにおごり合う。ラテン・アメリカでは遅刻が当たり前…。異文化コミュニケーションに役立つ142の世界の「常識」を、イラスト付きでわかりやすく紹介する。	御手洗昭治／編著	総合法令出版
371.4/フ/	FACES いじめをこえて いじめでつらい思いをした人たちが、自分らしく生きられるようになった「きっかけ」を語るメッセージサイトを書籍化。世界各国から届いた20人分のメッセージのほか、ジャングルポケット・斉藤慎二の体験談も収録する。	NHK「FACES」プロジェクト／著	KADOKAWA
自然科学・医学			
441.1/ア/	重力波発見の物語 重力波は、2015年9月に初めて観測された。重力波という考え方がどのように生まれ、実際にどうやって観測され、そして、今後どのように発展していくのか、やさしい言葉と挿し絵で解説する。	荒松良孝／著	技術評論社

491.8/タ/	たたかう免疫	NHK スペシャル取材班/著	講談社
	新型コロナウイルスとたたかう最強部隊「免疫」。最新の情報を加えながら、その激しい攻防の実態と、免疫力の本質に深く迫る。NHK スペシャルをもとに書籍化。山中伸弥へのインタビューも掲載。		
495.5/ホ/	帝王切開で出産したママに贈る 30 のエール	細田恭子/編著	中央法規出版
	大切なのは、産み方よりも育て方。子育てをもっと楽しもう! 自身も帝王切開で出産した「帝王切開カウンセラー」が、帝王切開で出産し、心にもやもやを持った女性に送るメッセージ。前向きになれば、勇気がわく言葉が満載。		
技術・家政			
509.2/オ/	そこに工場があるかぎり	小川洋子/著	集英社
	国内唯一の競技用ボート、ベビーカー、大人の色鉛筆…。日本の繊細でユニークなものづくりの愛おしさと本質、携わる人々の思いを伝える珠玉の工場見学エッセイ。山口硝子製作所、桑野造船など全 6 社の訪問記を収録。		
596/タ/	伝説の家政婦沸騰ワード 10 レシピ	タサン志麻/著	ワニブックス
	日本テレビ系番組「沸騰ワード 10」の約 2 年分のレシピを収録。草刈民代のサバ缶ラーメン、辺見えみりのロシア風ポテトサラダなど、伝説の家政婦・タサン志麻が芸能人宅で披露したメニューを紹介。		
産業			
626.9/キ/	キッチンからはじめる再生栽培	原由紀子/監修	ブティック社
	家庭で一度使った野菜のヘタやタネから野菜を育てる再生栽培。必要なものや基本テクニックを紹介するとともに、食用から観賞用まで全 34 種類の野菜の作り方を解説します。病虫害対策や、困った時のお役立ち情報なども掲載。		
686.2/マ/	紙の上のタイムトラベル	松本典久/著	東京書籍
	鉄道が初めて日本を走った 1872 年から現在に至るまで、特筆すべき時刻表を散りばめ、激動の鉄道史 150 年を簡潔に解説。鉄道にまつわる写真や、当時の世相を反映した写真も満載。見るだけでタイムトラベルを楽しめる一冊。		
芸術・芸能			
725.2/シ/	コミュニケーションを生み出すアートのカ	清水弘/[著]	クロスメディア・パブリッシング
	平面の絵なのに立体的に見える「トリックアート」はどのように生まれ、どのように進化してきたのか。生い立ちから現在の発展までの活動や苦闘・工夫の数々、デジタル化が進むこれからの時代の目指す世界などを綴る。		
778.2/サ/	桜庭一樹のシネマ桜吹雪	桜庭一樹/著	文藝春秋
	映画を観ると、知らない国の文化やそこで生きる生身の人たちのことを知ることができるし、自分と同じ思いを持つ人々をみつけられる。桜庭一樹が本当に面白いと思った映画を語る。		
日本文学—小説			
913.6/アガ/	ばあさんは 15 歳	阿川佐和子/著	中央公論新社
	高校入学を目前に、ふとした異変で昭和にタイムスリップした菜緒。愛想なしの祖母を相棒に東京タワーから始まる物語は、出会いと発見にあふれ…。孫娘とばあさんの時をまたぐ冒険を描く。		
913.6/アマ/	もろびとの空	天野純希/著	集英社
	戦国末期、別所長治は信長に叛旗を翻す。織田勢を率いる秀吉の猛攻と「干殺し」に耐え、暮らしを守ろうと刀を握った人々の、歴史に記されなかった生を描く。		
913.6/ウフ/	アクティベーター	冲方丁/著	集英社
	羽田空港に突如、中国のステルス爆撃機が飛来した。女性パイロットは告げる。「積んでいるのは核兵器だ」と。これはテロか、宣戦布告か。展開予測不能の国際サスペンス。		
913.6/カフ/	水葬	鎬木蓮/著	徳間書店
	限界集落をテーマにしたフォトエッセイを連載していた婚約者・光一が失踪した。自宅の PC に転送された写真を手がかりに、彼の足取りを追う希美は、光一の元交際相手の優子も失踪していることを知り…。書下ろしサスペンス。		
913.6/クホ/	ははのれんあい	窪美澄/著	KADOKAWA
	シングルマザーになった「はは」と、代わりに双子の弟たちの「はは」役を務める僕。歪な家族があってもいい、どんな形でも家族は家族だから。学芸通信社の配信により各紙にて掲載したものを加筆修正し単行本化。		

913.6/シン/	元彼の遺言状	新川帆立／著	宝島社
	「僕の全財産は、僕を殺した犯人に譲る」という遺言状を残して、大手製薬会社の御曹司が亡くなった。学生時代に彼と交際していた弁護士の剣持麗子は、「犯人選考会」に参加し、依頼人を犯人に仕立て上げようと奔走するが…。		
913.6/フカ/	鬼哭の銃弾	深町秋生／著	双葉社
	警視庁捜査一課の刑事・日向直幸が捜査を命じられた多摩川河川敷発砲事件の拳銃の線条痕が、22年前に発生した事件で使用された拳銃と一致。迷宮入りしたその事件は、父・繁が担当し…。		
913.6/ホサ/	猫がこなくなった	保坂和志／著	文藝春秋
	高平君がうちに来て、涙ながらにこなくなった猫の話をはじめた。聞けば聞くほど私が外で世話していたキャシーそっくりで…。忘れがたい猫達や風景、書物をめぐる9つの短篇を収録。		
913.6/ホン/	終わりの歌が聴こえる	本城雅人／著	幻冬舎
	人気絶頂のさなか、ホテルの部屋で死体となって発見された天才ギタリスト。時を経てその被疑者に浮上したのは、同じバンドの元メンバーだった。美しい旋律に掻き消された慟哭の真相とは…？		
913.6/ミヤ/1	公孫龍 巻1	宮城谷昌光／著	新潮社
	周王朝末期、人質として燕に送られることになった王子稜。父王から託された燕王宛の書翰には、王子を殺すようにと書かれていた。王宮内の陰謀に巻き込まれたことを知った稜は…。		
913.6/ヤナ/	アンブレイカブル	柳広司／著	KADOKAWA
	1925年、治安維持法成立。太平洋戦争の軍靴の響きが迫るなか、罪状捏造に走る官憲と信念を貫く男たちとの闘いが始まった。小林多喜二、三木清…。法の贅となった、敗れざる者たちの矜持を描く。歴史スパイ・ミステリ。		
913.6/ヨシ/	ぜにざむらい	吉川永青／著	朝日新聞出版
	織田信長の越前攻略により無一文の孤児となった源八は、蒲生氏郷に仕官することに成功する。だが、金銭に執着する源八に同僚たちの風当たりは強く。1万石の城代にまで成り上がった“ぜにざむらい”岡左内の半生を描く。		

本館 1 階 の 展 示

■ 2 / 27 (土) ~ 3 / 10 (木) ■

難病の日図書展

2月最終日はRDD世界希少・難治性疾患の日で、患者さんの生活の質の向上を目指したイベントなどが行われます。難病について知るための本をご紹介します。

■ 3 / 13 (土) ~ 4 / 29 (木) ■

なつかしの「昭和」をたずねる展

4月29日は「昭和の日」。昭和30年代を中心として、事件・ファッション・乗り物・家電製品・おもちゃなど、なつかしい昭和を感じさせる本を集めました。

図書館利用に際してのお願い

新型コロナウイルス感染症予防のため、利用者の皆様へ下記のとおりお願いします。

1. 来館前に自宅などで検温し、体調が悪い場合は来館をやめてください。
2. 入館される方は、マスクの着用と、入館確認用紙へのご記入をお願いします。
3. 入館時には、手指の消毒をお願いします。
4. カウンター前に数人が並んでいる時は、間隔を開けていただくよう床の印の位置でお待ちください。
5. 本の返却時には、レシートやふせんなど本の間にはさまっていないかご確認のうえ、お返しく下さい。

Stop!
コロナ

開館時間 【本館】 平日 10:00~19:00
土日祝 10:00~17:00
【分館】 全日 9:00~17:00

休館日 毎週月曜日、毎月最終金曜日
3月 1,8,15,22,26,29日

スマート
フォン用
サイト



「図書館だより」2021年3月号

発行：可児市立図書館 電話 (0574) 62-5120

資料検索・予約は <https://www.kani-lib.jp/> をどうぞご利用ください。